

令和7年度いじめ問題解決に向けた藤岡市立小野中学校の取組

1 いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

児童生徒同士で雑談やイベントを目的や頻度、話題を決めて行う

2 「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

いじめ問題解決のためには、日頃から「自分事として考えること」と「安心安全な環境を作ること」が大切であると考えます。そうした機会を全校生徒でもつことができるように、生徒たちが言葉を積極的に交わし、気持ちよく挨拶をする機会や気持ちよく活動できるイベントや企画を考えて実施していくことを目指す。また、活性化させるために、一時的なものではなく、目的や頻度も考えながら継続していける取組を実施していきたいと考える。

3 共通の取組

① 「あいさつ運動」

学級委員や安全委員、3年生の有志が朝や放課後のあいさつ運動を行った。明るい挨拶の声が登校する生徒たちを迎え、良い雰囲気での活動を行うことができた。最初は、俯きながらあいさつする生徒や恥ずかしがりながらあいさつする生徒が多かったが、続けていくことで自然とあいさつする環境ができた。



② 「HAPPYはあとふるツリー運動」

「思いやりをもって個人を尊重し、ふわふわ言葉を使おう」という生徒会テーマのもと、各クラスで、はあーとふるツリーの作成を行った。1枚は教室の座席の近くの友達にメッセージを書くなど、必ず全員の名前がツリーの中に入るようにした。それ以外は学年やクラスの枠を越えて自由に記入できるようにした。どのクラスも、一人複数枚記入しており、普段なかなか言葉にできない感謝の気持ちや、嬉しかったことなどを花びらにのせてたくさん書くことができた。休み時間にはツリーの前に立ち止まって花びらを嬉しそうに読む生徒の姿も見られた。人権集中学習期間中は生徒会本部役員が各クラスのツリーで見つけた素敵な言葉を昼の放送で紹介し、花びらを満開にできるよう呼びかけた。今年度は、学級や学年を越えて花びらを書くことを



意識づけることができた。いろいろな色の花を咲かせることができた。

人権集中学習期間の最後には各クラスのはあーとふるツリーの報告を全校生徒の前で学級委員長が行った。また、人権集中学習期間が終了した後も生徒玄関に全クラスのはあーとふるツリーを掲示し、皆が見られるようにした。



4 私たちの取組

(1) 人権集中学習

今年度は、6/9～20までの2週間を前期人権集中学習期間、12/1～12/19までの3週間を後期人権集中学習期間とし、学校行事と人権学習を絡めたり、各委員会が協力して以下のような取組を行ったりした。

○前期人権集中学習期間の取組

① 部活動いじめ防止宣言

各部活動で話し合い、部活動内でいじめが起きないようにするためにどのようにしたらいいのか考えた。部長が校内の放送で全校生徒に宣言し、生徒玄関に掲示した。



② 少年の主張校内大会

クラス大会、学年大会、校内大会と生徒が真剣に考えた主張を発表する場、聞く場を設定した。



○後期人権集中学習期間の取組

- ① 生徒会本部と生活委員会 はあとふるツリーの作成、報告、あいさつすごろく
- ② 放送委員会 人権ソングをお昼の放送に流す
- ③ JRC ユネスコ委員会 募金活動、書き損じはがき回収
- ④ 生活委員会 あいさつすごろく
- ⑤ 図書委員会 人権集中学習期間に読んでほしい本を紹介
- ⑥ 安全委員会 下校時の挨拶、交通安全の呼びかけ





(2) きずな班活動（縦割り活動）

きずなタイムでは、全校生徒が体育館に集まり、学年を越えての交流を行った。三年生がきずな班のリーダーとなり、後輩たちに話を振るなど、うまくまとめながら活動を行うことができた。年度初めには、自己紹介を兼ねてバースデーラインを行った。その際に集まった全校生徒の誕生日をカレンダーにまとめ、放送で毎月初めに誕生日の人を紹介している。また、自己紹介すごろくを行い、学年を越えて交流がより活発になった。校内バレーボール大会でもきずな班活動を取り入れたいと思う。



5 取組のまとめ

(1) 取組の成果

きずな班活動や各委員会からの取組により、生徒たちが直接言葉を交わしたり、掲示物や放送などでポジティブな言葉がけを行ったりする機会を多くもつことができた。全員で動く活動や、全員の名前が必ず入るものなどにより、一人一人の存在が大切で、皆で小野中学校をつくっているという意識も生徒たちがもてたと感じる。また、自分たちで協力して発表したり、運営したりする場面が多く、主体的な活動を行うこともできたと感じる。主体的な活動があることで、自己肯定感や自己有用感を持つことにつながると感じる。安心安全な環境が作れたのではないかと考えた。

(2) 今後の課題

「やらされているからやる」ということにならないことや、継続して取り組めるもの考えることが大切だという意見が生徒会本部の中で出ており、そうした視点を踏まえて今後の取組やイベントなどを考えていきたい。また、現在は委員会主導の活動が多くなっているが、昨年度よりは各クラスや部活動が動く機会も多くなったと感じる。しかし、まだまだ活動する組織が偏っているため、委員会だけにとどまらず、各クラス、部活動などを積極的に動かしながら、よりたくさんの生徒が関わり、学校全体で取り組んでいける企画を実施していきたい。一方、新しい企画を一から考えることは簡単なことではない。子ども会議などを通して他校の取組や考えを聞くことができたので、そうした小野中以外のところで実施されている魅力的な取組も参考にしながら、小野中に合った活動を今後も考えていけたらと思う。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立小野中学校

月	学校の取組	一貫校での取組
4月	生活アンケート 部活動いじめ防止宣言づくり きずなタイム	・小野連携型一貫校「学校いじめ防止基本方針」の見直し、職員共通理解
5月	生活アンケート 部活動いじめ防止宣言掲示・発表 あいさつ運動 きずなタイム	・学校運営協議会
6月	生活アンケート 前期人権週間 少年の主張校内大会 球技大会	・小野小中あいさつ運動 ・いじめ問題解決に向けた教育懇談会 ・学校運営協議会
7月	生活アンケート	
8月	職員研修	・職員研修
9月	生活アンケート あいさつ運動 いじめ防止フォーラムに向けた話し合い	・多野藤岡地区いじめ防止フォーラム ・学校運営協議会
10月	生活アンケート	・学校運営協議会 (おのハンモックのつどい)
11月	生活アンケート いじめ防止子ども会議に向けての話し合い 小野小中合同あいさつ運動(今年×)	・小野小中合同あいさつ運動(計画はしていたが、感染症流行のため実施できず。) ・あいさつすごろく ・学校運営協議会
12月	生活アンケート 後期人権週間 各委員会での取り組み ハッピーハートフルーツリー運動 あいさつすごろく	・学校評価アンケート実施(子ども・教員・家庭・地域)
1月	生活アンケート いじめ防止ことも会議に向けての話し合い	・いじめ問題解決に向けた子ども会議
2月	生活アンケート 後期生徒総会(意見を言う機会をつくる)	・学校運営協議会
3月	生活アンケート いじめ防止子ども会議の報告会	・学校運営協議会